

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:令和6年度】

(②福祉施設)

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市大須賀老人福祉センター		担当課名	長寿推進課	担当係名	高齢者政策係
区分		内容・説明					
1 施設及び 指定管理 者の状 況	(1) 設置条例名	掛川市老人福祉センター条例					
	(2) 施設設置目的	老人福祉法により高齢者は、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されており、心身の健康の保持及び社会活動への参加のため当該施設を整備し、もって老人の福祉を図ることを目的とする。					
	(3) 施設が有する設備、機能の概要	大集会室、研修室、談話室、休養室、娯楽室、面接室、健康相談室、機能回復訓練室					
	(4) 施設建設年度	昭和53年度					
	(5) 耐震性能の有無	あり					
	(6) 将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)						
	(7) 指定管理者名	中部ビル保善株式会社					
	(8) 指定期間	令和3年 4月1日 から 令和8年 3月31日 まで					
	(9) 債務負担行為設定の有無	☒ 設定あり ☐ 設定なし ※設定ありの場合、(期間 令和2年度 ～ 令和7年度) (限度額 100,765 千円)					
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営					
	(11)自主事業の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(12)その他事業の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
(13)事業報告書提出の有無	☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし						
(14)利用者満足度調査等実施の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 令和 6 年度)						

区分			R04実績	R05実績	R06実績	R07当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	10,000	16,800	16,800	16,800	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	10,115	11,548	11,225		
	内訳 (施設・設備ごと)		10,115	11,548	11,225		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			R04実績	R05実績	R06実績	R07当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		993	891	674			
	(3)運営日数		291	291	291	291		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	2.0	3.0	3.0	3.0		

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		R04実績	R05実績	R06実績	R07当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	7,869,428	7,979,316	5,668,827	4,976,400	
	②印刷費					
	③通信費	120,248	114,073	60,009	110,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	431,627	167,758	195,044	396,000	
	⑤借上料	600,484	985,484	529,744	790,900	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	818,789	843,765	874,893	220,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	205,386	201,150	240,454	563,200	
	計	10,045,962	10,291,546	7,568,971	7,056,500	
	対前年度増減率		2.4	△ 26.5	△ 6.8	
区分		R04実績	R05実績	R06実績	R07当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	513,447	511,994	661,373	599,500	
		513,447	511,994	661,373	599,500	
	②修繕費	621,750	563,649	622,930	660,000	
	③光熱水費	932,577	841,527	986,845	880,000	
	④燃料費	109,528	95,317	106,562	110,000	
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	733,636	553,613	551,432	825,000	
	計	2,910,938	2,566,100	2,929,142	3,074,500	
	対前年度増減率		△ 11.8	14.1	5.0	

(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	12,956,900	12,857,646	10,498,113	10,131,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	77.5	80.0	72.1	69.7	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	137,898	716,071	0		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	1.4	7.0			

Ⅲ 収支差額の状況 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	R04決算額	R05決算額	R06決算額	備考
a) 施設使用料収入	137,898	716,071	0	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	10,131,000	10,131,000	10,131,000	
収支差額 a)－b)	△ 9,993,102	△ 9,414,929		

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	R04決算額	R05決算額	R06決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	R04決算額	R05決算額	R06決算額	備考
a) 自主事業の収入	64,000	69,500	226,490	スマホ教室、飲料販売、ヘルストロン使用料
b) 自主事業の支出	44,121	51,191	12,552	飲料仕入れ
収支差額 a)－b)	19,879	18,309	213,938	
c) その他事業の収入	198,000	31,000	11,797	光熱費高騰対策支援金(R4.5)、コピー代、受取利息
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	198,000	31,000	11,797	

IV 担当課による評価

(1)施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2)協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%以上	99%	3	
B サービス内容の満足度	90%以上	99.50%	3	
C 従業員対応の満足度	90%以上	99%	3	
D 施設安全対策の満足度	90%以上	98%	3	
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	98%	3	
F 施設の利用者数	16,800人	11,225人	1	【達成できていない点・主な課題】 ・コロナ禍以降外出控えで行事や趣味クラブ参加者が減少。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・高齢者の健康長寿の拠点となるよう、施設の活用を促す。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3)収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	【達成できていない点・主な課題】 ・光熱費高騰対策支援金収入がなくなったため。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・自主事業の内容を検討する
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 ・民間の実施は可能であるが、主な利用者である高齢者からは施設利用料を徴収できないため、行政の関与が必要である。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・行政が関与しつつ、利用しやすい施設にしてい
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・主な利用団体であるシニアクラブ会員の減少や高齢化により、利用者数が伸びていない。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・介護予防教室の開催など、健康長寿の拠点として、施設の活用を促す工夫が必要である。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

26

／33

V その他自由意見

--